

温室効果ガス削減計画

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

イトーヨーカドー福山店

(2) 事業所の所在地

広島県福山市入船町3-1-60

(3) 業種

5611 百貨店,総合スーパー

(4) 事業所位置図
別紙のとおり

2 計画の期間

本計画の期間は、平成22年度を基準年度とし、平成24年度から平成28年度までの5年間とする。

3 計画の基本的な方向

環境についての約束

イトーヨーカドーは、「環境負荷が小さい小売業」の実現をめざして、商品の仕入から生産、物流、販売、お客様が商品を消費・廃棄するまでのあらゆるプロセスを視野に入れて、環境負荷の低減に取り組んでいます。また、こうした環境経営を進めるにあたっては、お取引先やお客様、自治体、NPO・NGOなど、多様な人々から寄せられる要請・提言を真摯に受け止め、方針に反映するとともに環境施策の立案に生かしています。

CO2の削減へ向けた取り組み

総合スーパー事業では、近年大型のショッピングモールの開発が急速に進み、店舗の大型化が進行するとともに、営業時間の延長傾向も続いています。このような中においてイトーヨーカドーは、店舗数や売場面積、営業時間の増加が、環境負荷の増大を促進しないよう、店舗の新設・改装時には最新の省エネ技術を投入した設備の導入を図っています。ハード面では調光設備の導入、LED照明の導入、インバーター機器の導入を進めます。また、随時、各機器の運転時間の見直し、不要照明の消灯、空調の設定温度の変更により、使用エネルギーを削減します。

4 温室効果ガスの排出状況（二酸化炭素換算）

【エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)		
	平成2年度	基準年度	直近年度
		平成22年度	平成23年度
二酸化炭素		5,511	5,405

【非エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)		
	平成2年度	基準年度	直近年度
		平成 年度	平成 年度
二酸化炭素			

【その他温室効果ガス】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)		
	平成2年度	基準年度	直近年度
		平成 年度	平成 年度
メタン			
一酸化二窒素			
HFC PFC SF6			

5 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO₂)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成 年度)		削減目標		目標年度 (平成 年度)
	排出量 (a)	削減率 (b)	削減量 (c)	排出見込量 (d)	
エネルギー起源CO2					0
非エネルギー起源CO2					0
メタン					0
一酸化二窒素					0
フロン類					0
温室効果ガス 実排出量総計					0
温室効果ガス みなし排出量					0
目標設定の考え方					

※ 削減率(b) = (c)/(a) × 100 削減量(c) = (a) - (d)

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：

CO2排出量[tCO2]/(延床面積×営業時間)[千m²・h]

単位：排出量(t-CO₂)，原単位量(kg等)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成22年度)			原単位 削減目標	基準年度 (平成28年度)		
	排出量 (a)	原単位 数値 (b)	原単位 (c)	削減率 (d)	排出 見込量 (e)	原単位 見込数値 (f)	原単位 見込 (g)
エネルギー起源CO2	5,405	243,000	0.0222	5.0	5,135	243,000	0.0211
非エネルギー起源CO2							
メタン							
一酸化二窒素							
フロン類							
総排出量							
エネルギー消費原単位 (原油換算 k l)	-	-	2,173	5.0	-	-	2,064
目標設定の考え方	エネルギー起源CO2は原単位ベース年1%の削減率						

※ 削減率(d) = {(c) - (g)} / (c) × 100 原単位(c) = (a) / (b) 原単位見込(g) = (e) / (f)

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置項目及び目標並びに具体的な取組み等

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項 目	数値目標	具体的な取組み
1	原単位の削減	・ 原単位を5%削減	<ul style="list-style-type: none"> ・ 冷暖房温度の適正管理 ・ 省エネ型電気機器への更新 ・ 高性能インバータ機器への更新 ・ 高効率照明器具への更新 ・ 休憩時間の消灯の徹底
2			
3			
4			

※ 原単位で作成する場合は、数値目標欄の記載例中、「使用量」を「原単位」に適宜読み替えること

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み（環境価値の活用等）

	種 類	合計量
1		
2		
3		

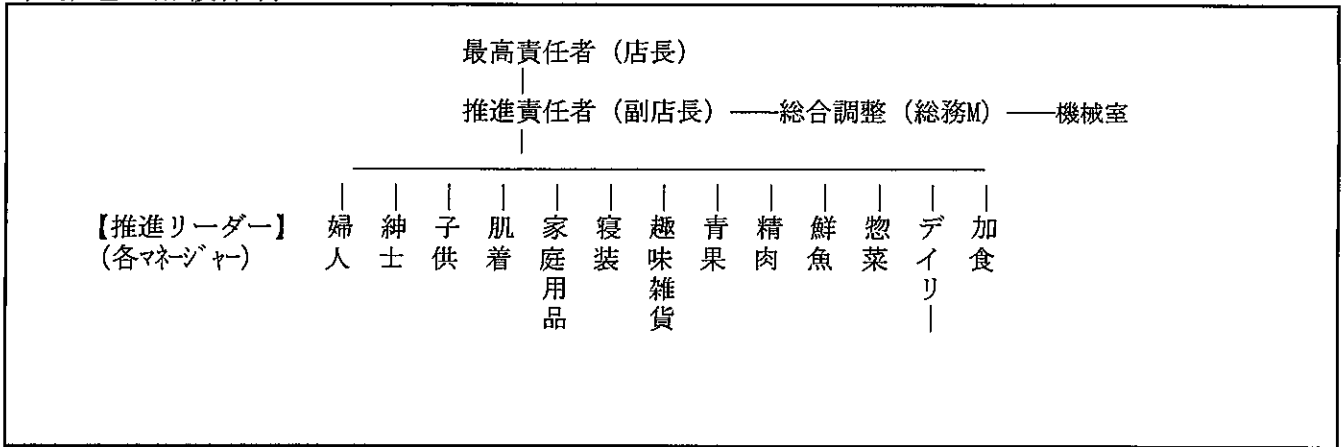
○ その他の取組み

	項 目	数値目標	具体的な取組み
1	廃棄物排出量の削減	・ コピー用紙使用量を5%削減	<ul style="list-style-type: none"> ・ 両面コピー、裏面利用等 ・ 分別収集及び資源化の徹底
2	レジ袋の有料化&マイバッグの推奨		
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。

7 温室効果ガス削減計画の推進並びに実施状況の点検及び評価に関する方法等

(1) 推進・点検体制



(2) 実施状況の点検・評価

総務Mを中心として、毎年温室効果ガス削減計画の取組状況の把握・点検及び問題点の検討を行い、店全体会議において定期的に評価・見直し等を行い、継続的な向上を図る。
また、毎年度の取組状況、点検・評価内容等については、計画書とともに公表する。

(3) 計画書等の公表

店舗サービスカウンター内での閲覧